

第7回 全国原子力発電所立地議会サミット

【テーマ】 我が国における原子力政策～立地地域の安全・安心と振興～

報 告 書



と き：平成22年11月16日(火)～17日(水)

ところ：品川プリンスホテル(東京都港区高輪)

全国原子力発電所立地市町村議会議長会

第7回全国原子力発電所立地議会サミット

《プログラム》

第1日目 11月16日(火)

12:00～ 受付

13:00～14:00

開会式 (プリンスホール)

会長あいさつ

実行委員長あいさつ

来賓祝辞

経済産業大臣 大畠 章宏 様

文部科学大臣 高木 義明 様

国会議員

全国原子力発電所所在市町村協議会会長 河瀬 一治 様

14:10～15:10

基調講演

「我が国における原子力政策」

講師 経済産業省資源エネルギー庁電力・ガス事業部

原子力立地・核燃料サイクル産業課

課長 森本 英雄 様

15:30～17:30

分科会

・第1分科会 [原子力発電の評価及び今後]

(会場 石鎚)

・第2分科会 [核燃料サイクルとプルサーマル]

(会場 大山)

・第3分科会 [地域共生と地域振興]

(会場 浅間)

・第4分科会 [原子力発電所の安全・安心と防災]

(会場 岩木)

・第5分科会 [原子力政策の推進と安全規制]

(会場 大雪)

18:30～20:00

交流懇親パーティー (プリンスホール)

第2日目 11月17日(水)

9:30～10:10

全体会 (プリンスホール)

分科会報告

・第1分科会

・第2分科会

・第3分科会

・第4分科会

・第5分科会

国からのコメント

10:10～10:30

閉会式 (プリンスホール)

大会宣言

次期開催地代表あいさつ

閉会のあいさつ

開 会 式

開 会 宣 言



第7回全国原子力発電所立地議会サミット

副実行委員長

玄海町議会議長 岩下孝嗣

今、我が国では、領土問題、食料、エネルギーと国の根幹にかかわる大きな問題が山積しております。我が国日本が、平和で心豊かに繁栄し、私たちの地域、ふるさとが振興・発展するために原子力発電所が必要なのか、必要でないのか、この原子力政策について、大いに議論をしていただきたいと思えます。

それでは、ただいまから第7回全国原子力発電所立地議会サミットの開会を宣言いたします。



主催者あいさつ



全国原子力発電所立地市町村議会議長会 会長
柏崎市議会議長 齋木 裕 司

第7回全国原子力発電所立地議会サミットの開催に当たり、主催者を代表いたしまして一言ごあいさつ申し上げます。

私たちの心がより深くなる秋のこのよき日、本日とあしたの2日間にわたって、470名を超える多数の皆様から御参加をいただき、ここ品川プリンスホテルにおいて開催できますことに心からお喜び申し上げます。

また、本日は大変御多忙の中、経済産業大臣 大島章宏様、文部科学大臣 高木義明様初め、国会議員の先生方、原子力にかかわる全国各地の議会議員の皆様、並びに行政、電力事業者など多くの皆様の御臨席を賜り、本サミットが盛大に開催できますことに心から厚く御礼を申し上げます。

このサミットは、平成9年4月28日に設立総会を開いて誕生いたしました、全国原子力発電所立地市町村議会議長会の重要な活動の一つとして、議長会の設立目的であります原子力発電所等が立地されることに関しまして、市町村に派生する諸問題について協議し、組織的に協力して調査・研究や情報交換を行い、時には提言団体になるなど、住民の安全の確保と福祉の向上、地域の振興に寄与するとした設立目的を踏まえ、平成9年7月に第1回サミットを開催してから、今日で第7回目を迎えることができました。

この間には、原子力発電をめぐり、国策としての国の果たすべき責任、原子力政策に関する国民理解と国の取り組み、安全・安心のための実効性のある規制機関、防災体制、広報のあり方、原子力発電等施設の立地と地域振興、立地自治体の議会の役割と責務などについて、その都度、サミット宣言しながら訴えてまいりました。

今、地球温暖化防止、低炭素社会実現に向けて原子力発電に寄せる期待がますます大きなものになり、世界各国でも原子力発電所の建設が具体化してきております。

我が国においては、原子力発電をめぐる動きとして、柏崎刈羽原子力発電所の震災と復旧、玄海原子力発電所におけるプルサーマル発電の開始、日本原子力発電所の敦賀1号機を初めとした高経年化炉の増加、高速増殖炉もんじゅの14年振りの運転再開、六ヶ所村再処理工場建設のおくれなど、多くの出来事がございました。

原子力発電所及び原子力関連施設が立地している市町村においては、国のエネルギー政策に一定の理解を示しつつも、安全・安心の確保、国や事業者に対する信頼の確立が強く求められており、立地地域住民の不安解消、地域振興について、さまざまな議論が展開されている現状であります。

そんな議論の中で、今回のサミットは、我が国における原子力政策、立地地域の安全・安心と

振興をテーマに意見交換を行うことといたしました。このサミットにおいて原子力発電所及び関連施設の諸課題について議論し、情報の共有化を図っていただきたいと願っております。

結びに、この第7回サミットの実施に当たり、実行委員長の島根県松江市議会議長の三島様初め、実行委員会の皆様には大変御苦勞をおかけし、やっときょうの開催の日を迎えることができ、感謝を申し上げる次第でありますとともに、御参加いただきました皆様のなご一層の御活躍と御健勝、そして、本サミットが実り多い大会となりますことを心から御祈念を申し上げまして、私のごあいさつといたします。

ありがとうございました。

実行委員長 あいさつ



第7回全国原子力発電所立地議会サミット 実行委員長

松江市議会議員 三島 進

第7回全国原子力発電所立地議会サミットの開催に当たり、実行委員会を代表いたしまして一言ごあいさつを申し上げます。

本日は、大変御多忙中、国会議員の皆様を初め、原子力にかかわる全国各地の議会議員の皆様、並びに行政、電力事業関係者など、多くの皆様の御臨席を賜り、本サミットがかくも盛大に開催できますことに心から厚く御礼を申し上げる次第でございます。

皆様には、それぞれの立場で、さまざまな御意見をお持ちになり、精力的に原子力にかかわる活動に携わっておられると思いますが、我々全国原子力発電所立地市町村議会議員会は、国策に基づく国のエネルギー政策として今日まで一定の理解を示し、住民の安全・安心を常に最優先にしながら地域振興、地域共生を行ってまいったところでございます。

先般、国においては、原子力発電の推進のため、具体的な方策を盛り込んだエネルギー基本計画や原子力発電推進行動計画を策定され、確固たる国家戦略として国が前面に立って取り組むという積極的な姿勢を示されたところでございます。

また、先ごろ行われました政府の事業仕分けでも、電源立地地域対策交付金やエネルギー対策特別会計が取り上げられましたが、原子力発電の重要性が改めて認識されたところでございます。

しかしながら、近年、各地域の原子力発電所を取り巻く状況といたしましては、プルサーマルの開始、商用軽水炉の運転終了・廃止措置、高経年化炉の増加、高速増殖炉もんじゅの運転再開などがございますが、いまだ諸課題が山積しております。これらの諸課題を解決していくためにも、このような国の姿勢は評価され、立地地域といたしましては、大変心強く、着実な推進を期待するものであります。

加えて、今年度末に失効となる「原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法」は、原子力政策を推進していく上で、国及び立地地域にとりまして非常に重要な措置であります。原子力発電に対する地元住民の理解、立地地域の安全確保を最優先とした地域振興策の充実を図るためにも、発電所立地自治体の声を真摯に受けとめ、我々の思いを御認識いただき、特措法の期限延長に関しても、ぜひ原子力推進政策に反映させていただきたいと思っております。

また、原子力電力事業関係者の皆様におかれましては、地球環境の問題への対応という観点に加え、エネルギー供給として重要な役割を果たす原子力を取り扱う事業者として誇りと責任を持って、さらに、徹底した情報公開とともに、地域と共存を図りながら一層の御努力をいただきたいと思うところでございます。

さて、今回のサミットは、「我が国における原子力政策～立地地域の安全・安心と振興～」をメー

ンテーマに、本日から2日間にわたって、参加者の皆様には、原子力政策に関する諸課題について御議論を深めていただくわけでございますが、本サミットが活発な意見交換、情報の共有化を図るため、有意義な議論の場となりますよう切に願うものであります。

最後に、本サミットが実り多い大会になりますよう御祈念申し上げますとともに、御参加いただきました皆様方の今後ますますの御活躍と御健勝をお祈り申し上げまして、私のごあいさつとさせていただきます。